

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

第23回 会員総会

議案資料

2022年6月27日（月）

（15：00～16：30）

町田商工会議所 2階 会議室

- 議 案 -

- 第1号議案 2021年度 事業報告書（案） … 1～13頁
- 第2号議案 2021年度 決算報告書（案） … 14～21頁
- 第3号議案 定款の一部変更（案） … 22頁
- 第4号議案 第6期役員体制（案） … 23頁
- 第5号議案 役員の報酬等及び費用に関する規程の一部改定（案） … 24頁

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

2021年度町田市介護人材開発センター事業実績報告書（案）

1 総括

町田市介護人材開発センター（以下、センター）は設立から10年の節目となった。今年度は「新型コロナウイルス」の感染拡大収束が見えず、感染拡大防止の観点からオンラインでの開催で実施した。市民や児童を対象とした事業は、参加人数に比較して広い会場を用意し、様々な感染防止策を講じて開催することができた。

ホームページをリニューアルして様々な研修や講座などの申し込みができるようになり、閲覧数も増やしていくことができた。「まちけあジョブ」「まちけあトーク」も少しずつではあるが毎月登録者が増えた。研修や連絡会、関係団体の情報をホームページやメールで提供するとともに、Facebookやinstagram等のSNS、タウン誌等の広告媒体の活用といった従来の情報発信から、Youtubeも活用し情報発信の幅を広げることができた。また、町田市の協力を得て公共施設へのポスター掲示を通して市民への周知も継続してきた。

会員事業所数は3月末時点で419事業所（昨年度末407事業所）、加入率は約74%（昨年度74%）となった。連絡会の中でも会員数を増やしていくことで町田市との連携を強化し適正なサービス向上に向け進めていきたい。

個別の事業については、計画書の事業番号に添って下記に報告する。

2 各種事業実績

(1)人材確保事業

町田市介護人材バンク

アクティブシニア介護人材バンクと町田市介護人材バンクを一体化して2年目となり、前年より、全求職登録者を無料・有料の職業紹介に繋げて行く為の方向性を決めて対応を実施した。

前年度より無資格者は基本的に無料職業紹介、有資格者及び経験者は有料職業紹介として、紹介対応進めたが、コロナ禍で施設側の対応が見学不可や人材育成の余力が無く、即戦力を求める傾向が多いので、優先順位を就労に繋げる事を第一に変更して、資格者でも本人希望・施設希望に柔軟に対応する事で就労に繋げる事が出来た。有料職業紹介に繋がったのは1名だけで有ったが、バンク単独での紹介就労は20名と前年と同数に繋がった。

傾向的にコロナ禍で異業種から介護に参入する方も多く、特に男性は介護職員初任者研修や実務者研修等、取得済みの相談登録者も増加傾向で有ったが施設側では男性職員は充足気味で、マッチングが進み難い状況も有り、ハローワーク相談面接会や町田の介護を支える仕事・相談面接会、介護の入門的研修での就労相談会等、対面機会を生かす事で就労に繋がった。

専門職（看護師・介護支援専門員等）の参加・相談登録も出てきたが、経験者ならではの要望の難しさ等が有り、今後の検討課題である。

ホームページリニューアル後の人材バンクページのアクセスはホームページ全体の36%であった。また求人検索へのアクセスは人材バンクページ全体の62%で求人情報検索としての活用は出来ている。市民・求職者への周知を更にアップさせて行きたい。

まちけあジョブアプリも毎月10件以上のダウンロードが有り、アクセスも年間8,644

件有り、開始月318件から年度末の3月は930件と約300%アップと活用されて来ている。

ホームページ・まちけあジョブアプリが日々の相談、出張相談会、ハローワーク相談面接会、各相談面接会等での周知にて、求職者への求人検索・情報提供等に活用されるツールとなり結果的に採用に繋がっている。

バンクの新規登録者は73名で前年より1名増で、ヒアリング総数は327件で前年より13%ダウンしたのはコロナ禍の影響が顕著に出た。就労インタビューは146%アップとICT等の活用推進が浸透して来た結果である。

新しい取組では、事務所を文学館通りに面した場所に移転したので1階のバンク事務所のショーウィンドウにウィンドウサインとして求人票や研修講座等の掲示にて歩行者・車の方に周知する取組を行った。掲示を見る方も多く、今後、相談や紹介に繋がればと思う。また、町田市介護人材バンク就労相談・面接会『町田の介護を支える仕事 相談会』を2回/年開催し、オンライン相談ブースや動画での法人説明等、より求職者に伝わりやすい取組も行った。

人材確保事業の就労相談会（02、03、04、05、06）及び人材育成事業・14介護の入門的研修での就労相談会、15まちいきヘルパー養成研修【高齢者福祉課受託事業】相談面接会に町田市介護人材バンクが中心的に活動する事で就労者人数74名（12.外国人向け日本語学習支援の1名含む）に達する事が出来た。また求人件数も502件と前年比168%と大幅に増加する事が出来て、町田市介護人材バンクが市内介護保険事業所の就労支援を行っている事が法人採用担当者に周知する事が出来た。

今後もホームページ・まちけあジョブアプリ・SNS等のICT活用促進で求職者と施設とのマッチング及び情報提供を進めて行く。

01. 介護・福祉ミニ面接会 （ハローワーク町田共催）

ハローワーク町田担当者と密な関係が出来た事で、ハローワークも相模原・多摩共催エリア以外のハローワークへの周知を行って頂く事で、町田市外の求職者も多く参加頂いた（町田市内より市外の参加者の方が多い回も有った）市内参加者全体の70%で、その他エリアからが30%であった。

コロナ禍の開催で有ったがハローワーク町田として、緊急性を伴う職種という事で、緊急事態宣言下・まん延等防止重点処置の間も開催した。

ハローワークの業務ひっ迫により予約を町田市介護人材バンクにて対応したが、逆に参加者の状況（経験・有資格等）を把握して、当日対応出来たので、参加者とのコミュニケーションも円滑に取れた。また、相談面接会終了後、各施設面談後に相談依頼のケースも増えて来て、採用に繋がった。法人側・求職者からも評価頂いた。

参加申込法人は前年13.7事業所/回、今年度13.3事業所/回とコロナ過状況では変化はなかった。求職参加者は22.2人/回と前年16.7人/回より、増加している。異業種参入者の傾向も同じだが、コロナ禍2年目になり、初任者研修取得にて参加の傾向が多くなって来た。傾向的に求職者・法人側共に慎重なのか、非正規（パート）採用が全体の74%となった。

コロナ禍の影響かは不明だが訪問ヘルパー希望者も増えて7名の採用に繋がった。厳しい状況下で35名の採用に繋がりと、介護事業所の人材確保に貢献できた。

02. 地域密着型就職面接会・福祉のしごと相談面接会(町田市社会福祉協議会主催 協力)

コロナ禍での開催で来場者は72名で前年と同じであった。東京都人材センターと相談にて、高齢の相談は町田市介護人材バンク、その他は東京都人材センターと役割分担を明確に出来た事で的確な対応が出来た。本年もコロナ禍で積極的な声掛け等は控えたが10名の方の相談に繋がった。ブースの訪問者数115名より137%増であった。結果的に8名が採用になり、3名が高齢者施設での採用に繋がった。バンクも3名が新規登録に繋がった。

03. 町田市介護人材バンク就労相談・面接会(新規)

コロナ禍で紹介マッチングの環境も厳しくなっている為、バンク登録者及びハローワーク求職者に、より多くの求職活動の場の提供を作る為に今年度より2回開催を行った。事業所担当者と直接相談の機会の提供とコロナ禍で進んだオンライン面接も取り入れて実施した。また施設見学が難しい状況なので事業所動画を法人説明時にPRとしての導入実施も行った。

バンク登録者及び昨年度から異業種から転職検討の求職者も多いので、いきなり介護の仕事は不安という、求職者に対して、ボランティアから体験等の機会を作り、就労に繋がればとの思いで、町田市社会福祉協議会にもボランティア相談・登録として参加頂いて、2回で計4名の方がボランティア登録となった。

事業所動画は、まだ慣れていない法人もあったがPRの機会として、今後も積極的に活用して行きたい。オンライン相談は、慣れていない求職者がほとんどであったが慣れてもらう為に積極的に声掛けした。その為、オンライン相談から1名の採用に繋がった。

参加申込法人は1回目14法人、2回目15法人と同水準の申込であった。参加法人・求職者共に、コロナ禍での面接会開催に好評な意見が多かった。採用人数は2回で2名と多くは無かった、回を重ねる事や周知等の検討で採用を増やして行きたい。

04. 町田市介護保険事業所介護職員雇用動向基礎調査

町田市内で介護職員がいる事業所330事業所にアンケートを実施。回答率は52.4%であった。職員年齢の階層の割合で、年齢層が高くなってきていた。おそらく新卒者、若年層の中途採用が減少してきていることにより、今後も正規職員の「中高年化」と非正規職員の「高齢化」が進行していくと考えられる。職員の高年齢化への対策、取り組みとしてICTの活用、ケアのあり方、中高年者向けの職員システムへの見直し、中堅リーダー職員の確保・育成、働きやすい職場環境の整備などは、構造的であり中長期的な課題である。それらは、基本的には法人の課題であるが、町田市の課題にもなってくると考えられる。

コロナ対策への整備状況では、人の確保等は法人内においても人的応援の難しさがあり、他法人との人的支援態勢はもっと難しい。ボランティアの受入れでは、有償ボランティアではなく無償ボランティアが多く入っていたことの要因はなにか。ボランティアの方の思い、信頼関係、職員と同じく施設内だけの調整で済む等なのか、今後の検証が必要である。

05. 就労相談会

①出張型就労相談会：地域の市民センターなどで開催

求職登録者の確保を『待ち』姿勢では無く、『確保』の方向性で、バンクから出向いて、求職者のエリアで就労相談登録会を行い、1人でも多くの人材確保に向けて、各市民センター及び商工会議所出張型の相談会を12回開催。但し2回は新規、『町田市介護人材バンク就労相談・面接会』として開催したので別途報告とする。前年は12回開催の内、2回が新型コロナウイルス感染症・緊急事態宣言の為に中止となった為、開催は10回と今年度と同じであった。参加者は前年33名の対して、36名と増加した（1回0名の回あり）出張相談会経由での就労人数も前年2名に対して1名と減となる。

コロナ禍での退職者の相談登録傾向も増えている。また男性の比率も増加して来ている。出張型相談会として4年目になったが、この回を通して就労した方が相談等に来られる事も多くなって来ているので、就労定着としても有効な会となった。

専門職（介護支援専門員や相談員等々）の方の参加も増えてきているため専門職ならではの要望の難しさ等があり、マッチング方法の再検討が必要である。

②研修プラス型就労相談会：市民を対象とした研修会で開催

06. 講座・講習会

①特別講座

アクティブシニア介護人材バンクと町田市介護人材バンクを一体化としての特別講座・就労相談会は、既存参加者と新しい参加者の取り込みを考えて、セミナー形式1回、体験型講座2回、防災等の周知も兼ねて、町田市民生活安全課・町田警察との講座を2回行った。やはり体験型講座は人気が高く、早々に予約満了になった。前年がコロナの為に中止となり、比較は難しいが77名の参加に繋がり、施設側への周知も行い、相談等行う事で、就労支援として、定着の役割も行う事が出来た。

②介護講習会

市内の市民センターで6月、9月、11月と3回実施した。

家族介護をしている方や介護の仕事に興味のある市民を募集した。3回の申込み者総数は61名、総参加者数は46名となった。そのうち、10名が入門的研修から継続受講されていた。

町田市介護福祉士会から毎回7名～9名の講師が3グループに分かれ、細やかな説明、指導をされ、受講者からは参加してとても勉強になったという声が多数あった。実際に車いすや杖など福祉用具も使いながら開催ができた。

07. 町田市内における介護職員初任者研修開催状況の情報提供

年4回、町田市内に教室を置く養成校での開催状況の情報提供を行った。この情報から受講された方もあり、無資格で介護職員として働いている方やこれから介護職員として働くことを目指している方にとって、資格取得のための情報提供として一役を担うことができたと考える。また求職者から資格取得について相談を受けた際に開催状況を伝えることも多く、コロナ禍で異業種から介護職希望者が増えていることが感じられた。

08. 小学生向け講座「まちけあ★キッズ 介護の仕事体験」

夏休みに町田市内5か所の子どもセンターにて開催。99名の小学生が参加。介護施設の協力も得て介護福祉士・看護師・栄養士等の専門職の仕事や福祉用具・機器を体

験した。昨年度に続いて参加した子どもおり、参加した子どもたちの満足度は高かった。

夏休みの自由研究にと、親子で参加される方や、家族に看護師、介護士がいて、「普段どんなことをしているか知ることが出来た」という声もあった。

09. 町田市内高校・専門学校・大学や市外の学校との連携

①「まちけあ★キッズ 介護の仕事体験」の運営ボランティア

野津田高校の生徒30名、桜美林大学のボランティア部の学生4名が参加した。介護士・看護師・栄養士の3つの体験ブースに分かれて、施設から来てくださったスタッフのサポートをお願いした。どのボランティアも笑顔で、体験に来た子どもたちを受け入れ、事故もなく、開催できた。

②学校での特別授業

野津田高校福祉科にて実施。2年生の福祉科の生徒14名が参加した。講師は高齢者支援センター相談員とケアマネジャーで「介護保険外のサービスを利用し在宅生活を支援していく」をテーマに事例に基づき個人ワーク、グループワークを行い発表した。教科書にはない実際の事例を使った授業に参加した生徒は満足していた。

③アクティブ福祉 in 町田への参加

「介護川柳」に高校生からの応募もあり、高校、専門学校に投票を依頼し実施した。

10. 情報発信（求人・求職等に関わる様々な情報提供）

① バンク通信（紙媒体）

第23～27号を発行し、研修や相談会の案内を主として、事務所移転のお知らせやアクティブ福祉動画配信のお知らせ等を記事として掲載し、情報提供の充実を図った。通信を見たことをきっかけに、研修等の申込みの他にも、新事務所を訪れる方や電話での連絡等もあり、近況を聞き取る機会となった。

② メール配信

事業所から急募の求人で依頼があったものに対して、バンク登録時にメールアドレス登録のある方へメールでの情報提供を行った。2021年度は1回のみ配信だった。また町田市介護人材バンクの周知に繋げるため、研修や特別講座のうち、内容が事業所職員でも役立つと思われるものについては事業所向けにメールで情報提供を行った。

③ 町内会自治会回覧板や掲示

コロナ禍以前は、半期に1回ずつ、自治会掲示板への掲示と回覧板へのチラシ挟み込みを行っていたが、感染予防の為に回覧板の実施が見送られ、また掲示についても自治会からの公募はなく、2021年度は行うことができなかった。

④ アプリ「まちけあジョブ」

日々の相談及び出張相談会にて相談者への周知、バンク相談面接会での周知と求人票掲載、ハローワーク相談面接会での周知及び当日求人票の事前公開等を行い、毎月10件以上のダウンロードに繋がっている。最近では求職者ヒアリングにてダウンロード済み

や活用しているとの話が出て来る様になった。今後は求人の『こだわり検索』の充実及び、ICTでの情報提供等の活用も順次進めて行く。

11. オンライン相談（LINE、Zoom等を活用した求職者の相談、求人者との面談等）

新型コロナウイルスによる第1回目の緊急事態宣言後に導入した為、前年度との比較は難しいが、求職者との相談では傾向として一番身近な相談方法はLINEで103件であった。会話のようにトークでの文章交換ができたり、リンクや画像などが送れることにより連絡事項の伝達ミスが防げる等のメリットが大きいと感じる。ZOOMについては馴染みのないツールであり、今年度の活用はなかった。またメール相談は15件だった。同じ求職者が電話相談とLINEやメール相談をニーズに合わせて併用するケースも多かった。LINEは相談だけではなく、タイムラインを利用した情報発信も行い、それをきっかけに研修等に参加する方もいた。

求人者との面談については、03.05の就労相談会の場でZOOMによるオンラインブースを計6ブース設け、相談件数は計16件であった。会場ではスタッフが立ち会ったため、個人的にはオンラインに馴染みのない方もオンラインで相談することができた。

（2）日本語学習支援

12. 外国人向け日本語学習支援

①介護の日本語教室

オンラインのみで学習するグループが3グループ、オンラインと教室（月1回）で学習グループが1つの計4グループで行った。感染拡大状況により教室で実施できない月が多く、オンライン中心であったが年間34回実施することができた。参加者数は14名（前年度からの継続参加者数9名、新規参加者数5名）でスタートし年度末の参加者数は18名だった。年間の延べ参加者数は381名で昨年度の221名からプラス160名と大きく増加した。途中で止める参加者の割合はかなり低く、講師の丁寧な指導と少人数での学習により、ピア・ラーニングができて学習意欲の向上につながったことが要因と考える。また、講師や他の参加者と話すことで相談や息抜きの場にもなっていることが伺え、定着にも一定の効果を上げていると考える。前年度は特定技能の参加者がいなかったが、今年度8名に増加した。今後もこの傾向は続くと思われる。在住外国人の割合は参加者の5割強で、こちらも一定のニーズがあることが伺えた。就労希望の参加者のうち就労に至ったのは1名だった。

②「やさしい日本語」講座

講義とワークショップの2回シリーズの講座を2回実施した。延べ参加者数は18名だった。参加の動機は在住者の外国人スタッフの場合、会話はできるが読み書きが難しい人が多いこと、コミュニケーションでこちらの意図が伝わっていても、彼らの言いたいことが理解できないことがあり、感情表現がお互いに伝わりにくく誤解が生じやすいことだった。参加人数は少なかったが、所属施設で外国人職員と接している参加者がそれぞれに課題となっていることなどを共有し、講師から具体的なアドバイスも得られて好評だった。

（3）人材育成事業

13 出張訪問研修

今年度は登録講師を明記したリーフレットを作成し、各事業所へ案内をしたが、新

型コロナ感染防止の観点から会場での開催ができず、オンラインでの開催が昨年度と同じ1回でただけになってしまった。昨年度の反省が活かせず、各事業所の要望にそうすることが感染防止からも難しさを感じた1年となった。次年度では更なる工夫をしていかなければならないと考える。

14 入門的研修

「介護の入門的研修」1回21時間コース（5日間）の研修を2回実施した。第1回目は参加者19名、修了者15名で、第2回目は参加者25名、修了者19名だった。各回、研修最終日に修了式と就職相談会を実施し、9名の採用が決まった。2021年の介護の入門的研修の受講生のうち、まちいきヘルパーへの継続受講は3名だった。

15 まちいきヘルパー養成研修 【高齢者福祉課受託事業】

「まちいきヘルパー養成研修」1回20時間コース（4日間）の研修を1回実施した。訪問介護事業所を対象として実施したアンケート結果から定員を30名とした。申込み者28名、参加者24名、修了者24名だった。最終日には就労相談会を実施し、6名が事業所に採用された。また、これまでの修了生を対象としたフォローアップ研修を1回実施し参加者数は4名だった。

16 相談援助研修 初級編・上級編

町田市介護保険課共催研修「相談援助研修」はオンラインで開催。初級編は、全3回で延べ165名（昨年度135名）、上級編は全5回で延べ188名（昨年度199名）が参加した。初級編では定員を上回ることができた。初級編も上級編も高評価を得られたことは意識の向上につながったと考えられる。

17 介護基礎講座

テーマ「接遇・マナー研修」、「自立支援と尊厳」、「高齢者の病気と観察の視点」、「介護における接遇と行動基準」の4回をオンラインで開催。延べ54名（平均14名）の参加となった。どの研修も「良かった」「とても良かった」の高評価を得られたことで、参加者にとっても有意義な研修になった。研修終了後、希望される方には交流の場を設け、研修を終えての感想を聞くことができた。

18 介護中上級研修

リーダー育成のためのテーマに沿った研修と交流として、テーマ「介護過程の展開(事例)」、「ケアの可視化とチームでの共有」、「BCP（訪問介護）」の3回をオンラインで開催。延べ38名（平均13名）も参加。全てにおいてアンケート結果が「とても良かった」「良かった」100%の高評価を得ることができた。

19 町田市共催・多職種連携・サービス種別・テーマ等に沿った研修

2021年度介護報酬改定において、関心事の高いテーマを中心に研修を行った。「災害対策」「認知症」「虐待防止」「海外と日本の介護」「BCP」をオンラインで開催。延べ92名（平均19名）の参加。研修全体として、「大変有意義だった」55%、「有意

義だった」39%と大半が有意義な研修という評価を得ることができた。

(4) 就労継続支援事業

20 第15回町田市医療・介護・福祉研究大会「アクティブ福祉 in 町田'21」

アクティブ福祉 in 町田は15年目を迎えた。今年度も昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染防止の観点から会場での開催を中止とし、発表動画を募集したところ6題の発表申込があり、オンラインで審査を行い各賞の受賞題を決定した。会場での交流や福祉用具の展示等ができなかったことは残念であるが、発表者も工夫をして動画を作成していた。期間を定めず YouTube に動画を公表し合計733回の閲覧回数が確認でき、多くの方に視聴されたようだ。「介護川柳」は市民・介護事業所等から110題の応募があった。審査は町田市内専門学校・町田市内高校と市役所職員の投票を行い、結果をホームページで公表した。

21 合同入職式

市庁舎と各施設をオンラインで結び、開催することができた。新任職員は10施設17名参加し、いずれも1年未満の介護職員が参加した。市長から激励をいただいたことは参加した新入職員への励ましとなった。インタビューでは一人一人が自分の言葉でしっかりと話をしていた。アンケートでは、「とても良かった」「良かった」が100%となり、満足感のある合同入職式となった。

22 介護福祉士国家試験受験対策直前講座（筆記編）

9名の参加があった。受験勉強の振り返り、科目ごとの内容把握、出題基準の確認を行った。受験対策のための学習にとどまらず、試験会場に向かうときの心構えや講師の体験を交えた講義となり参加者からとても好評であった。合格発表後、複数名の参加者から合格の知らせが届いた。

23 まちけあカフェ（旧：介護カフェ、サ責カフェ）

① 介護カフェ「医療介護義塾まちけあ」

今年度もオンラインを中心の活動となった。その中で、定期的に Zoom で幹事会を持ちつづけ、研修会もハイブリッド形式で2回持つなど、継続しておこなうことができた。合同入職式でのアピールや、センターの介護通信での紹介など、機会があるごとに紹介をすることができた。

② サ責カフェ

今年度より訪問介護事業者協議会の理事会の後に開催することと、今回より訪問介護事業所にのみ周知し「サ責」にこだわった情報交換ができた。コロナ禍のなか各事業所での状況・対応など情報交換がリアルタイムでできたことは良かった。有識者として2名の参加をただけたことで参加者へのアドバイスなども適宜入り、参加者には有意義な時間となった。

24 情報発信

町田市介護保険課・いきいき総務課・高齢者福祉課・保健所を主に依頼のあった情報提供を町田市内の介護保険関係事業所約720件のメールで送信した。会員事業所・連絡会関係・大学等からの情報なども資質向上に向けた内容などをメール送信し

た。年3回介護人材開発センター通信（KJTS）を発行。会員事業所へ郵送した。
Facebook・Instagram・まちけあトーク・まちけあジョブや無料配布冊子などできる
ところへの周知活動を実施した。

25 就労継続支援研修

テーマは「ハラスメント」で研修をオンライン開催。参加は24名。研修内容については「とても良かった」「良かった」が100%となり研修に高い評価を得た。ハラスメントを起こさない土壌をつくっていくためにどうしたらいいのかということについて講義が進み、全般につながる理解を深めることができた。

(5) 町田市受託事業

26 町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト事務局事務委託事業

【高齢者福祉課受託事業】

年3回の定例協議会、年2回の多職種連携研修会、毎月開催の研修部会に参加し事務局事務を高齢者福祉課等と連携して実施した。主に運営に係る連絡調整事務のほか、協議会に関する啓蒙活動を実施した。

27-① 要介護認定調査業務 【介護保険課受託事業】

年間受託件数1,445件

27-②町田市認定調査員研修事務業務 【介護保険課受託事業】

現任研修：年1回 町田市内の全受託法人の認定調査員を対象として「審査会から見た認知症に関する書き方のポイント」をテーマにオンラインで開催。参加者143名になった。講師は認知症看護認定看護師 認知症ケア専門士 看護師長。

研修参加者からは大変高評価を得られた。町田市とも企画から検討し、町田市の認定調査員のレベルアップを図る研修事業を実施することができた。

28 まちだ互近助クラブ代表者向け研修業務【高齢者福祉課受託事業】

町田市介護予防・日常生活支援総合事業における「地域活動団体型サービス」を実施するまちだ互近助クラブの代表者に対して、サービス提供にあたって必要となる知識や注意事項に関する研修を実施した。今年度は1回オンラインで開催し、6団体12名、2か所の町田市高齢者支援センターの参加があった。

29 介護サービス相談員連絡会業務 【介護保険課受託事業】

町田市介護保険施設に派遣される介護サービス相談員の連絡会事務を受託しており、年間6回の連絡会を開催した。コロナ禍で多くの施設で介護サービス相談員の受入れが中止となっており、今年度も当初は老健1施設への訪問だったが、1月から特養3施設の訪問も再開された。

(6) ネットワーク促進事業（法人事業）

30～34 会員総会、理事会、運営委員会、ネットワークサポート委員会、委員会

会員総会を除き、理事会、運営委員会、ネットワークサポート委員会はオンラインで実施した。委員会として「町田市人材確保戦略会議」は新型コロナウイルス感染防

止の観点から中止となった。

35 町田市高齢者福祉施設部会・生活相談員部会

特養の新型コロナウイルス感染防止の意見交換や医療処置対応一覧作成等に取り組んだ。新型コロナウイルスに関して各施設の対策や課題をメールやまちけあトークで情報交換することができた。年間を通してオンライン開催となった。

36 町田市通所事業所連絡会

連絡会活動の支援や事業所プロフィールシートの取りまとめ（2021年度で中止）、各部会の調整やオンラインでの実施に取り組んだ。新型コロナウイルスに関して各事業所の対策や課題をメールで情報交換することができた。連絡会主導の「合同運営推進会議」を開催した。まちけあトークでの情報交換なども進められた。

37 町田市福祉用具事業所連絡会

連絡会活動の支援や事業所プロフィールシートの取りまとめ、オンラインでの連絡会実施に取り組んだ。昨年度に引き続き、アクティブ福祉 in 町田が会場での開催を中止としたため福祉用具の展示はできなかった。住宅改修研修会では福祉用具の貸出で協力した。

38 町田市訪問看護ステーション連絡会

連絡会活動の支援や「情報誌」の取りまとめ、調整やオンラインでの実施に取り組んだ。

39 町田市有料老人ホーム連絡協議会

連絡会活動の支援や取りまとめ、調整等オンラインでの実施に取り組んだ。

40 町田市訪問マッサージ連絡会

連絡会活動の支援や取りまとめ、調整等オンラインでの実施に取り組んだ。

41 町田市グループホーム連絡会

連絡会活動の支援や取りまとめ、調整等オンラインでの実施に取り組んだ。

42 町田市訪問介護事業者協議会

連絡会活動の支援や取りまとめ、調整等オンラインでの実施に取り組んだ。

43 町田市老人保健施設相談員意見交換会

連絡会発足の話し合いができ、次年度連絡会を立ち上げるための道筋ができた。

44 町田市内の事業種別連絡会との連携及び組織化への支援

- ・町田市ケアマネジャー連絡会は、研修会に参加。
- ・町田市小規模多機能連絡会では、新型コロナウイルス感染防止により連携する機会がなかった。

45 センター事業等の広報活動

行政、医療機関、関係団体等の情報をメールで随時配信した。また、K J T S通信（町田市介護人材開発センター通信）、Facebook や instagram 等 SNS を通じてセンター事業の紹介を行った。

各事業の詳細は、別紙「2021年度町田市介護人材開発センター事業報告・参加者数」参照

【【運営委員会・委員推薦団体】】

1. 町田市高齢者福祉施設部会
2. 町田市介護老人保健施設
3. 町田市ケアマネジャー連絡会
4. 町田市通所事業所連絡会
5. 町田市訪問介護事業者協議会
6. 町田市グループホーム連絡会
7. 町田市訪問看護ステーション連絡会
8. 町田市社会福祉協議会
9. 町田社会福祉士会
10. 町田市介護福祉士会
11. 町田市福祉用具事業所連絡会
12. 町田市有料老人ホーム連絡協議会
13. 町田市訪問マッサージ連絡会
14. 町田市高齢者支援センター連絡会

【推薦委員を派遣している外部委員会】

1. 町田市介護保険事業計画・高齢者福祉計画審議会
2. 町田市地域密着型サービス運営委員会
3. 町田市高齢者支援センター運営協議会
4. 町田市介護保険苦情相談調整会議・介護苦情解決専門員
5. 町田市高齢者虐待防止連絡協議会
6. 町田市老人ホーム入所判定委員会
7. 町田市中学生職場体験推進協議会
8. 町田市社会福祉協議会評議員
9. 町田市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会
10. 町田市社会福祉協議会共同募金配分推薦委員会
11. 町田市社会福祉協議会第5次地域福祉活動計画推進委員（策定）

2021年度町田市介護人材開発センター事業報告・参加者数

2022/3/31 現在

事業種別	内容	2021年度実績												合計	2020年度実績
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
介護・福祉ミニ面接会 (ハローワーク町田共催)	ハローワーク町田での就労相談面接会(年11回、毎月第3水曜日)	4/21	5/19	6/16	7/21		9/15	10/20	11/17	12/15	1/19	2/16	3/16		
	参加者数	25	30	28	23		23	26	19	22	10	22	16		244
	就労人数	2	5	2	1		7	3	2	6	1	5	1		35
地域密着型就職面接会・福祉の しごと相談面接会	町田市社会福祉協議会主催(協力) (年1回)						9/25								72
	参加者数						72								72
	就労人数						8								
町田の介護を支える仕事 相談面接会(新規)	(年2回)					8/4						2/19			
	参加者数					18						23			41
	延べ相談数					37						38			75
就労相談会	①出張型就労相談会:地域の市民センターなどで開催(年10回)	4/24	5/26	6/23	7/31		9/22	10/29	11/24	12/22	1/22		3/23		33
	参加者数	9	4	1	0		1	4	2	4	8		3		36
	就労人数	0	0	0	0		0	0	1	0	0		0		1
講義・講習会	②研修クラス型就労相談会:市民を対象とした研修会で開催(年3回程度)			6/17				10/19	11/18						
	参加者数			4				5	6						15
	就労人数														4
児童・学生	①特別講座 (年5回)	4/16		6/25			9/10		11/26		1/28				
	参加者数	19		11			19		18		10				77
	就労人数	1		1	3	3	2	1		4	1	3	1		20
児童・学生	②介護講習会 (年3回)			6/20			9/12		11/28						
	参加者数			18			11		17						46
	就労人数														
児童・学生	小学生向け講座「まちけあ★キッズ介護の仕事体験」				7/29,30	8/2,5,6									99
	参加者数				56	43									99
	就労人数				20	14									34
児童・学生	町田市内高校・専門学校・大学や市外の学校との連携														7
	①「まちけあ★キッズ介護の仕事体験」の運営ボランティア												15		15
	②学校での特別授業												8		8
児童・学生	オンライン相談(LINE、Zoom等を活用した求職者の相談、求人者との面談等														103
	参加者数														103
	就労人数														279

町田市介護人材バンク事業

2021年度町田市介護人材開発センター事業報告・参加者数

2022/3/31 現在

事業種別	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2020年度実績
		4/7,14,28	5/12,26	6/2,9,23,30	7/7,14,28	8/4,11,25	9/1,8,22,29	10/6,13,27	11/10,17,24	12/1,8,22	1/12,26	2/2,9	3/2,9,23		
日本語学習支援事業	①介護の日本語教室 (月3回程度)	30	24	46	35	35	40	33	24	26	29	24	35	381	221
	外国人向け日本語学習支援							1						1	2
講師派遣	②「やさしい日本語」講座 (年2回)					8/18,27						1/19,2/16			
	出張訪問研修 ・依頼されたテーマに沿った講師を派遣						8/25ぬくもりの園							18	
入門的研修	介護の入門的研修(年2回)		5/20,27,6/3,10,17						9/21,28,10/5,12,19					12	22
	修了者数		16						19					35	53
相談支援	相談援助研修														
	①初級編 (3回) ソーシャルワーカーの基礎		5/11・25	6/8											
人材育成事業	②上級編 (5回) ソーシャルワーカーの実践		5/24	6/24	7/15	8/24	9/21	10/19						168	135
	介護基礎研修 ※旧:新任職員研修 (年4回)		6/15・29	7/13・20										193	199
中堅層	介護中上級研修 ※旧:リーダー育成研修 (年3回) 9/14介護過程の展開(事例):11/25ケアの可視化とチームでの共有,1/25ICTの活用						9/14		11/25		1/25	2/17振替			
	町田市共催・多職種連携・サービスマ等に沿った研修 (年5回) 8/31災害対策、9/2認知症、9/7虐待防止、12/7日本と海外の介護、2/8BCP					8/31	9/2・7			12/7		2/8			
研究発表会	アクティブ福祉in町田'21 (年1回:11月10日) 医療・介護・福祉をテーマとした実践研究発表、介護川柳								11/10						
	合同入職式 (年1回)		5/12						733	動画閲覧数					閲覧数 1,345
資格取得	介護福祉士国家試験直前講座 筆記編 (年1回)		22						11/27					9	5
	仮称)まちあけカフェ ※旧:介護カフェ、サ責カフェ (月1~2回) トークアプリ等を活用して職種ごとや職種・事業所を超えた情報交換の場とする	4/16	5/14	6/17	7/16	8/20	9/17	10/15	11/19	12/17	1/21	2/18	3/18		
相互啓発		3	3	4	3	7	2	3	3	2	4	2	5	41	介護カフェ43 サ責カフェ 125
				6/15				10/19		12/21		2/15		53	
相互啓発	就労継続支援研修 (年1回) 就労継続支援に関するテーマ「ハラスメント」の研修			15				16		15		7		24	
								10/7							

2021年度 収支報告書(総括表)
自:2021年4月1日 至:2022年3月31日

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

《収入の部》

大区分	中区分	決算額	予算額	差額	備考	
町田市補助金収入		23,070,000	23,070,000	0	センター事業、人材バンク事業	
センター事業収入	参加費収入	593,000	548,000	45,000	研修などの参加費(資料代含む)	
	広告料収入	30,000	150,000	△ 120,000	アクティブ福祉in町田 当日冊子への掲載	
	手数料収入	178,178	1,000,000	△ 821,822	人材バンク職業紹介手数料	
	計	23,871,178	24,768,000	△ 896,822		
法人収入	会費収入	5,208,150	5,000,000	208,150	正会員会費 419事業所	
	受託収入(町田市等)		2,647,181	2,647,181	0	町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会事務局事務
			11,921,250	10,725,000	1,196,250	町田市要介護認定調査業務
			288,941	0	288,941	町田市要介護認定調査員現任研修事務局事務
			2,075,348	2,075,348	0	まちいきヘルパー養成研修業務
			86,500	86,500	0	まちだ互助クラブ代表者研修業務
			477,371	499,609	△ 22,238	介護サービス相談員事業業務
	計	17,496,591	16,033,638	1,462,953		
	その他受託収入	24,750	0	24,750	他市要介護認定調査事務	
	その他事業収入	541,600	0	541,600	バナー広告、原稿執筆謝金	
	交流会参加費収入	0	0	0		
	受取利息収入	159	0	159	受取利息	
	受託事業振替収入	500,000	500,000	0		
雑収入				0		
計	23,771,250	21,533,638	2,237,612			
収入計①		47,642,428	46,301,638	1,340,790		
投資活動収入②	敷金戻り収入	1,324,800		0		

《支出の部》

大区分	中区分	決算額	予算額	差額	備考
管理費支出		177,902	200,172	△ 22,270	役員報酬等
事業費支出		50,620,348	46,058,482	4,561,866	
	人材確保事業費	14,841,306	15,037,861	△ 196,555	介護人材バンク(面接会、まちあきキッズ、調査、職業紹介)、日本語学習支援
	人材育成事業費	8,053,196	7,077,179	976,017	研修(職員・市民)
	就労継続支援事業費	4,141,695	3,761,414	380,281	アクティブ福祉、介護カフェ、サ責カフェ
	ネットワーク促進事業費	8,654,792	5,942,681	2,712,111	理事会、総会、連絡会等、法人税、市都民税、消費税含む
	受託事業費	14,429,359	13,739,347	690,012	町田市受託業務
	ネットワーク促進事業振替支出	500,000	500,000	0	
	計	50,798,250	46,258,654	4,539,596	
支出計③		50,798,250	46,258,654	4,539,596	
予備費⑤			42,984	△ 42,984	
投資活動支出⑥		863,983	0	863,983	
固定資産取得支出		185,983	0	185,983	設備造作
敷金・保証金支出		678,000		678,000	保証金
当期収支差額 (①+②)-(③+④+⑤+⑥)		△ 2,695,005	0	△ 4,019,805	
前期繰越収支差額		13,457,995		13,457,995	
次期繰越収支差額		10,762,990		10,762,990	

※参考(事務局経費)

	決算額	予算額	差額	備考
人件費	33,063,763	30,168,819	2,894,944	常勤7名、非常勤17名(3月末付)
経費	12,036,397	9,422,709	2,613,688	
合計	45,100,160	39,591,528	5,508,632	

決 算 報 告 書

(第 10 期)

自 令和 3 年 4 月 1 日
至 令和 4 年 3 月 31 日

一般社団法人町田市介護サービ'ネットワーク

正味財産増減計算書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
会費収入	5,208,150	5,091,000	117,150
正会員受取会費	5,208,150	5,091,000	117,150
事業収入	18,864,119	16,565,564	2,298,555
参加費収益	593,000	307,000	286,000
広告費収益	550,000	140,000	410,000
町田市受託収益	17,496,591	15,833,022	1,663,569
その他受託収益	24,750		24,750
その他事業収益	21,600		21,600
手数料収益	178,178	285,542	△107,364
受取補助金等	23,070,000	29,320,000	△6,250,000
受取地方公共団体補助金	23,070,000	29,320,000	△6,250,000
雑収益	159	3,415,843	△3,415,684
受取利息	159	113	46
雑収益		3,415,730	△3,415,730
他会計からの繰入額	500,000	0	500,000
受託事業会計からの繰入額	500,000		500,000
經常収益計	47,642,428	54,392,407	△6,749,979
經常費用			
事業費	48,373,544	44,227,065	4,146,479
給料手当	28,477,057	23,876,176	4,600,881
通勤手当	1,011,387	602,450	408,937
福利厚生費	91,442	72,546	18,896
旅費交通費	8,196	8,666	△470
通信運搬費	1,608,780	1,238,645	370,135
消耗什器備品費	493,602		493,602
消耗品費	552,791	1,154,032	△601,241
広告宣伝費	633,118	371,418	261,700
印刷製本費	446,303	418,542	27,761
保険料	39,309	30,000	9,309
光熱水料費	370,992	299,098	71,894
貸借料	4,004,581	3,826,558	178,023
会場借上費	463,260	438,940	24,320
諸謝金	2,274,478	2,176,179	98,299
租税公課	40,050	30,250	9,800
法定福利費	3,483,877	3,593,487	△109,610
車両託	234,387	365,151	△130,764
委雑費	1,996,607	5,331,756	△3,335,149
雑費	2,143,327	393,171	1,750,156
管理費	2,677,318	1,681,089	996,229
役員報酬	177,902	197,945	△20,043
会議費	20,363	16,801	3,562
通信運搬費	194,774	195,895	△1,121
減価償却費	1,147,012	100,827	1,046,185
消耗品費		1,149	△1,149
印刷製本費		127,926	△127,926
貸借料	12,408	24,156	△11,748
会場借上費	14,850	20,900	△6,050
租税公課	833,600	759,350	74,250
諸会費	56,500	77,000	△20,500
雑費	219,909	159,140	60,769
他会計への繰出額	500,000	0	500,000

正味財産増減計算書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
ネットワーク会計への繰出額	500,000		500,000
経 常 費 用 計	51,550,862	45,908,154	5,642,708
評価損益等調整前当期経常増減額	△3,908,434	8,484,253	△12,392,687
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	△3,908,434	8,484,253	△12,392,687
経 常 外 増 減 の 部			
経 常 外 収 益			
固定資産売却益	0	129,999	△129,999
車両運搬具売却益		129,999	△129,999
経常外収益計	0	129,999	△129,999
経 常 外 費 用			
固定資産売却損	1	0	1
什器備品売却損	1		1
経常外費用計	1	0	1
当 期 経 常 外 増 減 額	△1	129,999	△130,000
税引前当期一般正味財産増減額	△3,908,435	8,614,252	△12,522,687
法人税、住民税及び事業税	394,400	557,100	△162,700
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△4,302,835	8,057,152	△12,359,987
一般正味財産期首残高	19,509,347	11,452,195	8,057,152
一般正味財産期末残高	15,206,512	19,509,347	△4,302,835
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	15,206,512	19,509,347	△4,302,835

貸借対照表

令和 4 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

事業名：事業全体

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
流 動 資 産			
現 金 預 金	10,862,911	21,012,046	△10,149,135
現 金	4,739	18,211	△13,472
普 通 預 金	10,858,172	20,993,835	△10,135,663
未 収 金	1,975,482	2,626,987	△651,505
前 払 金	739,929	512,478	227,451
流動資産合計	13,578,322	24,151,511	△10,573,189
固 定 資 産			
そ の 他 固 定 資 産			
設 備 造 作	1	1	
車 両 運 搬 具	1	1	
什 器 備 品	71,123	88,903	△17,780
敷 金		1,324,800	△1,324,800
保 証 金	678,000	678,000	
ソ フ ト ウ ェ ア	3,694,397	4,637,647	△943,250
その他固定資産合計	4,443,522	6,051,352	△1,607,830
固定資産合計	4,443,522	6,051,352	△1,607,830
資産合計	18,021,844	30,202,863	△12,181,019
II 負 債 の 部			
流 動 負 債			
未 払 金	108,248	8,942,913	△8,834,665
前 受 金	1,740,150	1,033,800	706,350
預 り 金	113,934	84,203	29,731
未 払 消 費 税 等	458,600	75,500	383,100
未 払 法 人 税 等	394,400	557,100	△162,700
流動負債合計	2,815,332	10,693,516	△7,878,184
負債合計	2,815,332	10,693,516	△7,878,184
III 正 味 財 産 の 部			
一 般 正 味 財 産	15,206,512	19,509,347	△4,302,835
正味財産合計	15,206,512	19,509,347	△4,302,835
負債及び正味財産合計	18,021,844	30,202,863	△12,181,019

財 産 目 録

令和 4 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

事業名：事業全体

(単位： 円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金	手元保管	運転資金として	4,739	
普通預金	ゆうちょ銀行	運転資金として	2,682,677	
	きらぼし銀行	運転資金として	8,175,495	
未収金	受託費	町田市 認定調査3月分他	1,975,482	
前払金	4月分家賃、共益費	家賃、会場代、広告掲載費	739,929	
流動資産合計				13,578,322
(固定資産)				
その他固定資産				
設備	パーティション	人材バンクで使用	1	
車両運搬具			1	
什器備品	システムサーバー他	管理業務で使用している	71,123	
保証金	樋口美香子	原町田事務所保証金	678,000	
ソフトウェア	まちけあジョブ他	人材確保、就労支援関連のアプリ	3,694,397	
固定資産合計				4,443,522
資産合計				18,021,844
(流動負債)				
未払金	ソフト開発株他	3月分経費の未払分	108,248	
前受金	次年度会費収入	ネットワーク促進事業の会費	1,740,150	
預り金	東京労働局他	雇用保険料他	113,934	
未払消費税等	町田税務署	消費税	458,600	
未払法人税等	町田税務署他	法人税、地方法人税他	394,400	
流動負債合計				2,815,332
負債合計				2,815,332
正味財産				15,206,512

財務諸表に対する注記

法人名：一般社団法人町田市介護サービスネットワーク
事業名：事業全体

1. 重要な会計方針

(1) 会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年12月1日 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法（ただし、建物附属設備は定額法）を採用している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	2,921,237	2,850,114	71,123
車輛運搬具	595,000	594,999	1
建物附属設備	216,561	216,560	1
ソフトウェア	4,716,250	1,021,853	3,694,397
合 計	8,449,048	4,683,526	3,765,522

2021年度 監査報告書

2022年 5月 23日

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク
代表理事 多田 周史 殿

監事 谷 和久

監事 諫 山 葵 一

1. 監査の実施概要

定款第25条に基づき、一般社団法人町田市介護サービスネットワークの2020年度（監査対象期間、2021年4月1日～2022年3月31日）の会計の状況について監査を行いました。

監査日時 2022年 5月 23日（月） 17:00～18:00
監査場所 町田市介護人材開発センター 事務所（町田市原町田3-8-5 2F）

2. 監査意見

収支決算書、貸借対照表、及び関係書類について監査した結果、その内容は適正であると認めます。

以上の通り報告致します。

第3号議案

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク 定款の一部変更（案）

<議案説明>

より一層、事業の適正化を進めていくために、監事を1名増員し、3名体制に致したく提案します。

変更事項は以下の通りです。

(1) 一般社団法人町田市介護サービスネットワーク定款 変更（案）

条文		摘要
変更前	変更後	
(役員の設置) 第22条 当法人に、次の役員を置く。 理事 7名以上9名以内 <u>監事 2名以内</u>	(役員の設置) 第22条 当法人に、次の役員を置く。 理事 7名以上9名以内 <u>監事 3名以内</u>	員数の変更

(2) 施行時期 令和4年6月27日

第4号議案

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク 第6期役員体制（案）

<議案説明>

第6期の役員候補者については、以下のとおり提案します。

<第6期役員候補者案>

敬称略

役職	氏名	区分	所属等
理事	多田 周史	再任	(一社)町田市介護サービスネットワーク代表理事
理事	鶴田 尚子	再任	(社福)福音会 町田愛信園 施設長
理事	是枝 祥子	再任	大妻女子大学 名誉教授
理事	五十子桂祐	再任	町田市医師会 理事 地域医療福祉・町プロ担当 町田病院 院長
理事	陶山 慎治	再任	(社福)悠々会 理事長
理事	沼田 裕樹	再任	日本社会事業大学 非常勤講師
理事	木口 圭子	新任	(社福)賛育会 清風園 施設長
理事	藤田 康子	新任	(社福)友愛十字会 友愛荘 施設長
監事	谷 和久	再任	(社福)町田市福祉サービス協会 事務局長
監事	諫山 英一	再任	税理士法人いさやま会計 代表
監事	岡林 得生	新任	町田市 いきいき生活部 部長

※第6期任期：2022年6月27日定時総会終結時から2024年6月定時総会終結時まで

第5号議案

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

役員の報酬等及び費用に関する規程の一部改定（案）

<議案説明>

1. 業務量の増加に伴い、報酬月額の見直しを提案いたします。

改定となる定めは、以下の通りですが、改定は第7条の定めにより会員総会の決議を経て行われますので、施行時期は6月27日としております。

(1) 役員の報酬等及び費用に関する規程 一部改定（案）

別表1 役員報酬の額

【変更前】

区分	報酬月額（1人あたり）	年度総額（1人あたり）
常勤役員	10,000円	120,000円

【変更後】

区分	報酬月額（1人あたり）	年度総額（1人あたり）
常勤役員	50,000円	600,000円

(2) (1) の施行時期

2022年6月27日